

平成28年度SSH生徒研究発表会

平成28年8月9日（火）～11日（木） 神戸国際展示場

「マツの葉の汚染率は空気中のチリの量の指標となるか」という研究テーマで、3年生の金子みなみさんが学校代表として参加しました。

この研究は、「マツの葉の気孔にチリが詰まる度合いから、大気汚染の度合いを推測する」という、広く一般に行われている手法に疑問をもち、マツの葉の汚染率と、実際の空気中のチリの量との相関を調べたものです。

この発表会は、SSHに指定されている全国のすべての学校が参加し、各校の代表研究のポスター発表を行います。その中から、優秀発表6つが選出され、2日目に口頭発表を行うことができます。本校からの発表は残念ながら優秀発表には選ばれませんでした。身近な題材でもあることから、たくさんの方が発表ブースに訪れてくださいました。

また、発表見学として、MJラボに所属している1, 2年生14名も参加し、全国のSSH校の研究や発表のしかたなどを見聞しました。



発表の様子



アピールタイムで発表内容をアピール



発表ブース前で記念写真撮影



ドイツの高校生の発表見学